

款	項	目	担当部局・課名		
3	2	6	教育部 社会教育課		
10	5	1			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援	
事業名		節名称	細節名称	予算額 (千円)	
子どもの居場所づくり推進事業 ・放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ) ・放課後子ども教室事業		①	報酬	会計年度任用職員報酬 (放課後児童クラブ)	132,580
		②	職員手当等	一般職期末手当 (放課後児童クラブ)	19,623
		③	職員手当等	勤勉手当 (放課後児童クラブ)	16,483
		④	委託料	業務委託料 (物件費) (放課後児童クラブ)	10,132
		⑤	委託料	業務委託料 (物件費) (放課後子ども教室)	27,773
実施計画No,		52			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		206,591	
該当ページ		114~117 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		19,687
		196~199 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		226,278
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和7年度 (予定)	226,278	48,711	55,284	0	122,156
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金	子ども・子育て支援交付金			
	県支出金	子ども・子育て支援交付金, 学校・家庭・地域連携協力推進事業県費補助金			
	負担金	放課後児童クラブ負担金, 過疎地域持続的発展基金繰入金			
事業内容及びその目的 (めざすもの)	放課後や土曜日・長期休業中に家庭に代わる子どもの居場所づくりとして放課後児童クラブ運営や, 地域住民の参画を得た体験活動を取り入れた放課後子ども教室事業を行う。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	【放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)】 198,167千円 実施小学校区 11箇所 (22支援) ※小規模型放課後児童クラブ含む ・報酬 (会計年度任用職員報償) : 132,580千円 主任放課後児童支援員 2人 放課後児童支援員 (週30時間勤務) 28人 (予定) 放課後児童支援員 (週25時間勤務) 18人 (予定) 日々雇用 59人 (予定) ・職員手当等 (一般職期末手当) : 19,623千円, (勤勉手当) : 16,483千円 ・旅費 (費用弁償) : 5,145千円, (普通旅費) : 50千円 ・需用費 (消耗品費) : 3,963千円, (燃料費) : 388千円, (印刷製本費) : 109千円, (光熱水費) : 5,166千円, (修繕料) : 500千円 ・役務費 (通信運搬費) : 924千円, (手数料) : 63千円, (その他保険料) : 1,173千円 ・委託料 (業務委託料) 放課後児童クラブ運営委託料【中央福祉会】 (1支援) : 10,132千円 (施設機器等管理委託料) : 300千円 ・使用料 (土地借上料) : 180千円, (その他使用料及び賃借料) : 58千円 ・備品購入費 (その他備品購入費) : 400千円 ・負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費)) : 930千円 小規模型放課後児童クラブ事業補助金【八幡放課後児童クラブ】				
別添資料	【放課後子ども教室事業】 28,111千円 実施小学校区 (実施団体) 9箇所 ・報償費 (委員等謝礼) : 放課後子ども教室推進事業運営委員会委員謝礼 55千円 (講師謝礼) : 放課後子ども教室安全管理員等研修会講師謝礼 62千円 ・需用費 (光熱水費) : 市施設分電気料金等 221千円 ・委託料 (業務委託料) : 放課後子ども教室推進事業運営業務委託料 27,773千円				
(一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
三次市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の定めによる。 三次市放課後子ども教室推進事業実施要綱の定めによる。					

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
【学校支援員等配置事業】 市費教員・学校支援員・教育支援員・ 障害児介助指導員			①	報酬	会計年度任用職員報酬	113,466
			②	職員手当等	一般職期末手当	21,438
			③	職員手当等	勤勉手当	21,103
			④	旅費	費用弁償	5,164
			⑤	役務費	手数料	85
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計)		➡	161,256
該当ページ			⑦その他の節など(上記以外)の合計額 *該当なし"0"を挿入		➡	73
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額		➡	161,329
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度(予定)	161,329	0	0	0	161,300	29
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金繰入金				
事業内容及びその目的(めざすもの)	<p>確かな学力の向上に向けた市費教員の配置。 個々の児童生徒の教育的ニーズに応じた指導や支援を行う学校支援員(教育支援員)の配置。 特別な支援や配慮を要する児童生徒への介助や支援を行う障害児介助指導員の配置。</p>					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○報償費(会計年度任用職員報酬) 113,466千円 ・市費教員(理科支援員・外国語指導員) 10,276千円 ・学校支援員・教育支援員 59,056千円 ・障害児介助指導員 44,134千円					
	○職員手当等(一般職期末手当) 21,438千円 ・市費教員(理科支援員・外国語指導員) 1,782千円 ・学校支援員・教育支援員 11,256千円 ・障害児介助指導員 8,400千円					
	○職員手当等(勤勉手当) 21,103千円 ・市費教員(理科支援員・外国語指導員) 1,497千円 ・学校支援員・教育支援員 11,228千円 ・障害児介助指導員 8,378千円					
	○旅費(費用弁償) 5,164千円 ・市費教員(理科支援員・外国語指導員) 958千円 ・学校支援員・教育支援員 2,220千円 ・障害児介助指導員 1,986千円					
	○役務費(手数料) 85千円 ・学校支援員・教育支援員 70千円 ・障害児介助指導員 15千円					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業>過去実績を検証して、改善・工夫した点(ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など)または、継続としたその主な理由(要綱等の定め、費用対効果大きい、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)						
市費教員(理科支援教員及び外国語指導員)については、複式学級の授業を支援するため、継続して配置する必要がある。また、通常の学級において特別な教育的ニーズや特別な配慮を要する児童生徒に対し、学校支援員や障害児介助指導員を派遣し、より細やかな支援・指導を行っている。特別な支援や配慮を要する児童生徒は、年々増加傾向にあり、教育的ニーズに応えるよう人材確保や支援・指導の質を向上させる必要がある。						

市費教員	
理科支援員	4名
外国語指導員	2名
学校支援員等	
学校支援員	22名
教育支援員	6名
障害児介助指導員	22名

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
外国語指導助手派遣事業			①	委託料	業務委託料 (物件費)	54,833
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		48				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			54,833
該当ページ		188 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
		189 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			54,833
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	54,833	0	0	0	54,800	33
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金繰越金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	児童生徒の外国語に寄すコミュニケーション能力の向上や、外国語教育の充実のため、ALTを派遣し、小学校外国語活動、外国語科、中学校英語科の授業の支援を行う。 ALTによる国際交流事業を実施 (国際交流イベント、オンライン国際交流、英会話教室、英検対策など) する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○委託料 (業務委託料 (物件費)) 54,833千円 市内全小中学校32校に11名の外国語指導助手 (ALT) を派遣 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>イングリッシュイベントの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オンライン国際交流の様子</p> </div> </div>					
別添資料	無 (一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)						
今後も継続して外国語教育を充実させ、グローバル人材の育成を図っていくために、本事業は、児童生徒がALTと言葉だけでなく表現やジェスチャーなど豊かなコミュニケーションを通して異なる言語・文化に触れる機会の創出につながっている。さらに主体的にコミュニケーションを図ろうとする外国語教育を推進していく必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 学校教育課			
事業区分		継続事業 (拡充)		政策3 子どもの未来応援		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
三次版学校ICT活用事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 需用費	修繕料	1,181
				② 役務費	通信運搬費	1,188
				③ 委託料	施設機器等管理委託料	18,264
				④ 使用料及び賃借料	その他使用料及び賃借料	15,112
				⑤ 備品購入費	その他備品購入費	66,495
実施計画No,		46				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) ➡		102,240	
該当ページ		188 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		176	
		189 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 ➡		102,416	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	102,416	44,330	0	0	30,200	27,886
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	公立学校情報機器整備事業費補助金				
	県支出金					
	負担金	地域振興基金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	1人1台端末を中心としたデジタル機器を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ること、児童生徒の学力の向上やこれからの社会で必要な情報活用能力等の育成を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○備品購入費 (その他備品購入費) 66,495千円 児童生徒1人1台端末(iPad)更新事業 ※中学校12校のタブレット端末更新 55,000円×1,209台</p> <p>○委託料 (施設機器等管理委託料) 18,264千円 GIGA端末運用保守, GIGAネットワーク運用保守</p> <p>○使用料及び賃借料 (その他使用料及び賃借料) 15,112千円 GIGAフィルタリングソフト利用料 592,680円×12月 7,112千円 授業支援デジタル教材 8,000千円</p> <p>○役務費 (通信運搬費) 1,188千円 GIGA回線利用料 NTT:3,960円×9回線×12ヵ月 428千円 プロバイダ:7,040円×9回線×12ヵ月 760千円</p> <p>○需用費 (修繕料) 1,181千円 iPad修繕 小学校用 49,800円×10台 498千円 中学校用 58,800円×6台 353千円 教育情報LAN端末 (全650台)</p>					
別添資料	ノートPC15,000円×1.1×20台 330千円					
無	○需用費 (消耗品費) 176千円 GIGA消耗品 (画面保護フィルム, タッチペン, 充電器等の破損に対する補充)					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている中、これを実現するためにはICTの活用は必要不可欠である。また、令和7年度から段階的に次期末調達を始めるが、その端末活用を支えるための環境整備 (保守・修繕・授業支援デジタル教材の検討等) を充実させていく必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
いじめ防止・不登校対策推進事業			①	報酬	会計年度任用職員報酬	12,775
			②	職員手当等	一般職期末手当	2,658
			③	職員手当等	勤勉手当	2,233
			④	報償費	講師謝礼	3,187
			⑤	委託料	業務委託料 (物件費)	1,689
実施計画No,		51				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計)		➡ 22,542	
該当ページ		186 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入		➡ 2,686	
		189 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額		➡ 25,228	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	25,228				25,200	
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	①いじめ・不登校の未然防止, 早期発見と初期対応, 不登校児童生徒の社会的自立に向けた取組 (教育支援ルーム等) を行政が学校・家庭や地域と連携し取り組む。②いじめ対策の検討や相談窓口等, 今後一層の充実を図る。教育相談員, 青少年指導相談員, スクールカウンセラー等の人的な措置を行うことで, いじめ, 不登校に限らず, 生徒指導上の諸課題等への総合的な対応をする。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○報酬 (会計年度任用職員報酬) 12,775千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談員報酬 (3名) 5,468千円 ・青少年指導相談員報酬 (4名) 7,307千円 <p>○職員手当等 (一般職期末手当) 2,658千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談員 (3名) 1,139千円 ・青少年指導相談員報酬 (4名) 1,519千円 <p>○職員手当等 (勤勉手当) 2,233千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談員 (3名) 957千円 ・青少年指導相談員 (4名) 1,276千円 <p>○報償費 (講師謝礼) 3,187千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援ルームカウンセリング講師謝金 等 367千円 ・三次市スクールカウンセラー相談業務謝礼 2,820千円 <p>○委託料 (業務委託料 (物件費)) 1,689千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合質問紙調査 (小学校1回, 中学校2回) 1,689千円 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本市の不登校児童生徒数は増加傾向である。今後, 教育支援ルームの対応の充実など, 不登校児童生徒への支援を拡充させる必要がある。また, 今後, より一層の個に応じた支援等を充実させ, 児童生徒が安全安心な学校生活を送ったり, 社会的自立を図ったりできる居場所を確保する必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
校務支援システム活用事業			① 使用料及び賃借料	事務機器等借上料	15,000	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,	45	⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			15,000	
該当ページ	188 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	189 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			15,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	15,000	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	15,000
令和7年度 (予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
特定財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	校務支援システムを活用することで、児童生徒に関する情報を一元的に管理し、業務の効率化と適正化を図る。また、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○使用料及び賃借料 (事務機器等借上料) 15,000千円</p> <p>月額 1,250,000円 × 12か月 内訳 校務支援システムサーバー、バックアップ装置、周辺装置、サーバーソフトウェア、プロジェクト管理費、システム基本設計、帳票・マニュアル作成、ライセンス料、コールセンター費用、研修会、システム年度更新、保守現地対応 等 (令和6年3月~令和11年2月末まで 60か月間の長期継続契約 (賃貸借契約))</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)						
令和6年度から本格的な運用を開始した。令和7年度以降は、これまでの活用実績を踏まえながら、さらに各学校において業務の効率化と適正化が進むように支援する必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名	
10	1	3	教育部 学校教育課	
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援
事業名			節名称	細節名称
読書活動推進事業			① 需用費	消耗品費
			② 委託料	業務委託料(物件費)
			③	
			④	
			⑤	
実施計画No,		49		
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →	
該当ページ		188 /頁	⑦その他の節など(上記以外)の合計額 *該当なし"0"を挿入 →	
		189 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →	
歳入に関する項目		予算額(千円) (⑧)	特定財源内訳(千円)	
			国庫支出金	県支出金
			市債	負担金等その他
			一般財源(千円)	
令和7年度(予定)		13,500		
特定財源内訳		財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称	
		国庫支出金		
		県支出金		
		負担金		
事業内容及びその目的(めざすもの)		読書活動推進事業として、学校図書館の図書を更新を図ったり、読書活動の推進を図る読書活動推進員を全校に派遣したりすることで、児童生徒・教員による学校図書館の活用の促進を図るとともに、児童生徒の読書意欲を喚起し、読書量の増加につなげる。		
事業の積算根拠等		<p>○需用費(消耗品費等) 9,712千円 市内全小中学校32校へ、図書購入費の配当を行う。</p> <p>○委託料(業務委託料(物件費)) 3,788千円 読書活動推進業務委託として、読書活動推進員を市内全小中学校32校に派遣し、学校図書館の運営の改善及び児童生徒・教員による学校図書館の活用の促進を図るとともに、読書量の増加につなげる。</p>		
(詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		 <p>読書活動推進員による新着図書の登録及び掲示</p>  <p>読書活動推進員による本の紹介カード作成講座</p>		
別添資料		無		
(一覧表/図面等)				
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)				
情報は常に刷新されるべきものであり、学校図書館の蔵書の更新は継続的に必要である。また、令和7年度は、読書活動推進に向け重点的に取り組む学校を指定し、一層の読書環境の充実、読書意欲の喚起を行う。				

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 学校教育課			
事業区分		継続事業 (拡充)		政策3 子どもの未来応援		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
【みよし結芽人育成事業】			①	報 償 費	講師謝礼	1,802
教育政策研究事業			②	旅 費	費用弁償	1,320
コアカリキュラム推進プロジェクト			③	旅 費	普通旅費	480
TRI-NEXT越境部			④	委 託 料	業務委託料 (物件費)	3,850
実施計画No,		50	⑤	使用料及び賃借料	自動車借上料	1,058
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計)		➡	8,510
該当ページ		186 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入		➡	10
		189 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額		➡	8,520
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	8,520	0	0	0	0	8,520
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	教育政策研究事業として、教育政策研究チームによる先進的な教育政策の調査研究を行う。コアカリキュラム推進プロジェクトとして、三次独自のカリキュラムの新たな開発と教職員の研修を行う。新たに、TRI-NEXT越境部という事業を立ち上げ、有志の児童生徒が参加する越境体験を企画し、「未来を創る当事者」となり中山間地のトップリーダーとなる児童生徒を育成する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○委託料 (業務委託料 (物件費)) 3,850千円					
	・教育政策研究事業 2,000千円					
	・コアカリキュラム推進プロジェクト 850千円					
	・TRI-NEXT越境部 1,000千円					
	○報償費 (講師謝礼) 1,802千円					
	・教育政策研究事業 880千円					
・コアカリキュラム推進プロジェクト 310千円						
・TRI-NEXT越境部 612千円						
○旅費 (費用弁償) 1,320千円						
・教育政策研究事業 720千円						
・コアカリキュラム推進プロジェクト 600千円						
○使用料及び賃借料 (自動車借上料) 1,058千円						
・コアカリキュラム推進プロジェクト 498千円						
・TRI-NEXT越境部 560千円						
○旅費 (普通旅費) 480千円						
・教育政策研究事業 480千円						
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	○需用費 (消耗品費) 10千円					
	・TRI-NEXT越境部 10千円					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
これまでの「みよし結芽人育成事業」である、教育政策研究事業、コアカリキュラム推進プロジェクトに、TRI-NEXT越境部を加え、「未来を創る当事者」を育てる教育を研究・推進する。						



令和6年12月19日実施「教育政策研究チーム」キックオフ会議

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
部活動指導員活用事業			①	報酬	会計年度任用職員報酬	5,957
			②	旅費	費用弁償	749
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		6,706	
該当ページ		186 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			
		187 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		6,706	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	⑧	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	6,706		4,719			1,987
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金	部活動指導員配置促進事業補助金				
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	中学校において、教員に代わり部活動の指導を行う部活動指導員を配置することで、生徒の部活動における技術力の確実な向上と、学校教育活動の一層の充実・教員の「働き方改革」の実現を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○報酬 (会計年度任用職員報酬) 5,957千円 部活動指導員12名 【報酬】 1,600円×年3600時間 (12名分) = 5,760千円 【地域手当相当他】 年間勤務時間200時間 (時間外手当相当含む) (1名分) = 88千円 年間勤務時間3400時間 (11名分) = 109千円</p> <p>○旅費 (①費用弁償) 749千円 通勤手当相当 509千円 生徒引率費 240千円</p>					
別添資料	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 令和7年度 部活動指導員配置種目の想定 ・野球部 ・卓球部 ・テニス部 ・バスケットボール部 ・吹奏楽部 (音楽部) ・茶道部 </div>					
無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本事業により、顧問教員が部活動に関わる時間を削減することができた。 どの学校においても、「顧問の負担が軽減されている」という回答が得られている。 部活動の地域移行の推進と重なり、教員の働き方改革、生徒への専門的な指導を行うための重要な取組である。						

款	項	目	担当部局・課名		
10	1	3	教育部 学校教育課		
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援	
事業名		事業	節名称	細節名称	予算額 (千円)
読解力向上事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 役 務 費	手数料	2,218
			② 委 託 料	業務委託費 (物件費)	667
			③		
			④		
			⑤		
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		2,885
該当ページ	188 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
	189 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			2,885
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
	2,885	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和7年度 (予定)					2,885
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	本市児童生徒の課題である読解力の向上をめざした「教科書を適切に読み取る力」と「中学校卒業段階における英語検定3級程度の英語力」の育成を図る。母語である日本語と外国語の習得については、相関関係があるとされており、母語、外国語の両面においての取組を進めることで、読解力を相乗的に高めたい。				
事業の積算根拠等	<p>○役務費 (手数料) 2,218千円 内容：年間1回、検定料全額を補助 対象：中学校第1学年・第2学年</p> <p>○委託料 (業務委託料 (物件費)) 667千円 内容：リーディングスキルテスト (基礎的な読む力を図るテスト) 指定校：小学校5校、中学校2校 対象学年：小学校第5学年～中学校第3学年</p>				
(詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等					
別添資料	「リーディングスキルテスト」の結果を生かした研究授業を実施。				
無	例えば、文と図を正しく対応づけることを意識させている。				
(一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)					
「教科書を適切に読み取る力」の育成については、7校の研究校で「リーディングスキルテスト (基礎的な読む力を測るテスト)」を用いた授業改善を進め、実践を市内に普及している。継続して取り組むことで、実践事例を増やし、一層の授業改善を図りたい。					
「中学校卒業段階における英語検定3級程度の英語力の育成」については、受検機会の拡大により、英語力及び学習意欲向上に結びつけたい。					

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
コミュニティ・スクール充実事業			① 報 償 費	講師謝礼	824	
			② 需 用 費	消耗品費	998	
			③ 需 用 費	印刷製本費	435	
			④ 使用料及び賃借料	自動車借上料	223	
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		2,480	
該当ページ	186 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	189 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		2,480	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	2,480					2,480
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	地域と学校が、めざす子ども像や教育目標を共有し、全ての子どもの可能性を最大限に伸ばすための仕組みであるコミュニティ・スクールの活動および、その核となる学校運営協議会の運営に要する経費に対し、予算の範囲内で事業費を配当する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○報償費 (講師謝礼) 824千円 指導方法や学びをつなぐ、小・中合同での研修会への講師謝礼、地域学習の講師謝礼 等 824千円</p> <p>○需用費 (消耗品費) 998千円 教材・教具用紙、コミュニティ・スクールの広報 等 998千円</p> <p>○需用費 (印刷製本費) 435千円 学校の取組紹介カレンダー 300千円 研究起用印刷製本代等 135千円</p> <p>○使用料及び賃借料 (自動車借上料) 223千円 児童生徒交流や校外学習のバス、タクシー借上料 223千円</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)						
令和7年度は、新たに2中学校区が学校運営協議会制度を導入予定であり、市内全ての学校がコミュニティ・スクールとなる。学校、地域、家庭の社会総ぐるみで子どもを育ていく風土づくりを加速させたい。今後、さらに市民に発信していく必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 学校教育課			
事業区分		継続事業 (拡充)		実施計画の政策区分を選択してください		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
中学校部活動地域移行推進事業			①	報酬	会計年度任用職員報酬	1,708
			②	職員手当等	一般職期末手当	353
			③	職員手当等	勤勉手当	296
			④	報償費	委員等謝礼	401
			⑤	旅費	費用弁償	83
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計)		➡ 2,841	
該当ページ		186 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入		➡ 0	
		189 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額		➡ 2,841	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	2,841		1,618			1,223
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金	地域スポーツクラブ活動体制整備事業委託金				
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	将来にわたり子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するため、運動部活動の地域連携や地域スポーツクラブ活動への移行に向けた環境の一体的な整備を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○報酬 (会計年度任用職員報酬) 1,708千円 ・総括コーディネーター報酬 1,708千円</p> <p>○報償費 (委員等謝礼) 401千円 ・協議会謝礼 委員 (学識経験者1人) 30,000円×4回 120千円 ・協議会謝礼 委員 (9人) 7,800円×4回×9人 281千円</p> <p>○職員手当等 (一般職期末手当) 353千円 ・総括コーディネーター期末手当 353千円</p> <p>○職員手当等 (勤勉手当) 296千円 ・総括コーディネーター勤勉手当 296千円</p> <p>○旅費 (費用弁償) 83千円 ・協議会委員費用弁償 83千円</p>					
別添資料	無 (一覧表/図面等)					
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>令和9年度に市内中学校の休日の部活動を地域展開するためには、引き続き関係者との協議や関係団体との連携が必要である。 令和6年度に引き続き、地域移行の受け皿となる運営団体・実施主体と中学校の連絡調整等を行う役割を担う総括コーディネーターを配置し、取組を進めていく必要がある。</p>						



総括コーディネーターが企画する検討委員会の様子

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 社会教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業(経費)内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額(千円)	
高校生地域活動支援事業		事業(経費)内の主たる費目	① 負担金, 補助及び交付金	補助金(補助費)	900	
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		900	
該当ページ	186 / 頁	⑦ その他の節など(上記以外)の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	189 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			900	
歳入に関する項目	予算額(千円) (⑧)	特定財源内訳(千円)			一般財源(千円)	
	900	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度(予定)					900	
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的(めざすもの)	高校生が取り組む地域振興や地域貢献活動など、高等学校が行う郷土に愛着と誇りを持つ人材の育成に資する事業、学習活動等を支援することで、地域に開かれた高等学校を推進する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○高校生地域活動支援事業補助金 300千円×3高校 = 900千円(補助率: 10/10)</p> <p>(補助要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象事業 郷土に愛着と誇りを持つ人材の育成に資する事業、学習活動、ボランティア活動、福祉活動等 ・対象経費 補助対象事業の運営に必要な消耗品購入費、通信運搬費、印刷製本費、謝礼及び交通費に要する費用等 ・交付限度額 高等学校1会計年度当たり30万円 <p>(対象高等学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県立三次高等学校 ・広島県立三次青陵高等学校 ・広島県立日彰館高等学校 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>参考: R6年度に高校生に配付した広報チラシ</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
三次市高校生地域活動支援事業補助金交付要綱の定めによる。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 教育企画課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
三次小学校改築事業			①	委託料	業務委託料 (物件費)	8,200
			②	委託料	調査測量設計監理等委託料	39,318
			③	工事請負費	工事請負費	1,090,026
			④	備品購入費	その他備品購入費	58,000
			⑤	負担金, 補助及び交付金	負担金	1,000
実施計画No,		53				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		1,196,544	
該当ページ		188・189 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 *該当なし"0"を挿入 →		830	
		190・191 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		1,197,374	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	1,197,374	17,710	17,710	1,129,800		32,154
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	子ども・子育て支援施設整備交付金				
	県支出金	子ども・子育て支援施設整備交付金				
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	<p>令和2年度に文部科学省の示す基準に基づき各学校の劣化状況調査を行った結果、三次小学校校舎の健全度が市内全小中学校の中で最も低い施設であることが判明した。</p> <p>児童の良好な学習環境や生活環境を確保するため、令和4年度・5年度で基本・実施設計を行い、令和7年9月の供用開始をめざして、令和5年度から校舎建替えに係る工事を実施しているもの。</p>					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○委託料 業務委託料 (物件費) 8,200千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物運搬処分業務 2,500千円 ・物品等運搬業務 (仮設校舎から新校舎への引越し) 4,500千円 ・開校式典に係る運營業務, パンフレット作成業務 1,200千円 <p>○委託料 調査測量設計監理等委託料 39,318千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改築工事監理業務 35,000千円 ・プール改修工事監理業務 2,006千円 ・改築事業に伴う家屋事後調査業務 2,312千円 <p>○工事請負費 工事請負費 1,090,026千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改築工事 1,024,578千円 (インフレスライド等による増含む) 建築主体工事, 機械設備工事, 電気設備工事 完成払い ・グラウンド整備工事 20,000千円 ・プール改修工事 40,103千円 ・その他工事 (電話設備工事, ネットワーク機器移設工事, 警備機器移設工事) 5,345千円 <p>○備品購入費 その他備品購入費 58,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新校舎事務用家具, カーテン等の購入 <p>○負担金, 補助及び交付金 1,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新校舎電気引き込み負担金 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>						
<p>本事業は、三次小学校校舎建替えに係る複数年 (R5年度~R7年度) の事業であるため。</p>						



新校舎パース図

構造：鉄筋コンクリート造
階数：地上3階建て
延べ床面積：4,961.97㎡ (ピロティ部分含む)



施工中写真

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 学校教育課			
事業区分		継続事業				
事業名		節名称	細節名称	予算額 (千円)		
屋内運動場天井等改修事業 (作木小学校)		① 委託料	調査測量設計監理等委託料	5,420		
		② 工事請負費	工事請負費	54,229		
		③				
		④				
		⑤				
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		59,649		
該当ページ	190 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0		
	191 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		59,649		
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑨)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	59,649	19,883		35,700		4,066
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	学校施設環境改善交付金				
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	学校施設の環境改善を図ることを目的として、作木小学校屋内運動場の天井等改修工事を行う。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○委託料 調査測量設計監理等委託料 5,420千円 作木小学校屋内運動場天井等改修工事監理業務</p> <p>○工事請負費 工事請負費 54,229千円 作木小学校屋内運動場天井等改修工事 ・既存の吊り天井 (約645㎡) の落下防止対策を実施する。</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>作木小学校屋内運動場</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
学校施設の環境改善を図るため。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 教育企画課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
十日市小学校等改築事業			①	報 償 費	委員等謝礼	818
			②	報 償 費	その他報償費	500
			③	旅 費	普通旅費	68
			④	需 用 費	食糧費	12
			⑤	委 託 料	調査測量設計監理等委託料	8,127
実施計画No,		54				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		9,525	
該当ページ		188・189 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		8	
		190・191 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		9,533	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	9,533			8,100		1,433
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	児童生徒の良好な学習環境や生活環境を確保するため、老朽化した十日市小・中学校の改築に係る基本構想・基本計画を令和6年度に策定した。その基本計画に基づき、令和7年度から令和8年度にかけて基本・実施設計を行うため設計者を選定するプロポーザルを実施するとともに、令和8年度から令和9年度にかけて改修工事を行うため十日市小学校屋内運動場と十日市体育館の改修設計を行うもの。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○報償費 委員等謝礼 818千円 ●基本・実施設計に係るプロポーザル審査委員謝礼 183千円 ●改築事業に関する検討委員会委員謝礼 635千円 ・学識経験者 30,000円×4人×1回=120,000円 ・委員長 20,000円×1人×6回=120,000円 ・委員 7,800円×8人×1回=62,400円 ・委員 7,800円×11人×6回=514,800円					
	○報償費 その他報償費 500千円 基本・実施設計に係るプロポーザル参加報償費 ・5者×100,000円=500,000円					
	○旅費 費用弁償 5千円 基本・実施設計に係るプロポーザル審査委員費用弁償					
	○旅費 普通旅費 68千円					
	○需用費 食糧費 12千円 プロポーザル審査委員会・検討委員会用					
○役務費 その他保険料 3千円 改築事業に関するワークショップ参加者傷害保険料						
別添資料	○委託料 調査測量設計監理等委託料 8,127千円 ・十日市小学校屋内運動場改修設計業務委託料 3,906,100円 ・十日市体育館改修設計業務委託料 4,220,700円					
無						
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本事業は、十日市小学校及び十日市中学校の改築に係る複数年の事業であるため。						



(十日市小学校)



(十日市中学校)

款	項	目	担当部局・課名																															
10	1	3	教育部 教育企画課																															
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援																														
事業名		節名称	細節名称	予算額 (千円)																														
小中学校トイレ洋式化事業		①	委託料	調査測量設計監理等委託料	1,650																													
		②	工事請負費	工事請負費	10,749																													
		③																																
		④																																
		⑤																																
実施計画No,																																		
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		12,399																														
該当ページ	190 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0																														
	191 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		12,399																														
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑨)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)																												
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																													
令和7年度 (予定)	12,399			12,300		99																												
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																																
	国庫支出金																																	
	県支出金																																	
	負担金																																	
事業内容及びその目的 (めざすもの)	教育環境の充実及び災害時の避難所の生活環境の充実を図るため、トイレの洋式化工事を行うもの。																																	
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> ○委託料 調査測量設計監理等委託料 1,650千円 <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事監理業務 ○工事請負費 工事請負費 10,749千円 																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>学校名</th> <th>場所</th> <th>男性用</th> <th>女性用</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>神杉小学校</td> <td>体育館</td> <td>1基</td> <td>2基</td> <td>3基</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>田幸小学校</td> <td>体育館</td> <td>1基</td> <td>3基</td> <td>4基</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>塩町中学校</td> <td>校舎</td> <td>3基</td> <td>3基</td> <td>6基</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>5基</td> <td>8基</td> <td>13基</td> </tr> </tbody> </table>					No.	学校名	場所	男性用	女性用	計	1	神杉小学校	体育館	1基	2基	3基	2	田幸小学校	体育館	1基	3基	4基	3	塩町中学校	校舎	3基	3基	6基	計			5基	8基
No.	学校名	場所	男性用	女性用	計																													
1	神杉小学校	体育館	1基	2基	3基																													
2	田幸小学校	体育館	1基	3基	4基																													
3	塩町中学校	校舎	3基	3基	6基																													
計			5基	8基	13基																													
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>神杉小学校</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>田幸小学校</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>塩町中学校</p> </div> </div>																																	
(一覧表/図面等)	無																																	
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)																																		
教育環境の充実及び災害時の避難所の生活環境の充実を図るため。																																		

款	項	目	担当部局・課名		
10	1	3	教育部 学校教育課		
事業区分		新規事業			
事業名		節名称	細節名称	予算額 (千円)	
小中学校屋内運動場用スポットクーラー購入事業		① 備品購入費	その他備品購入費	13,376	
		②			
		③			
		④			
		⑤			
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		13,376	
該当ページ	190 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	191 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		13,376	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
	13,376	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和7年度 (予定)					13,300
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金	ふるさと創生基金繰入金			
事業内容及びその目的 (めざすもの)	小中学校屋内運動場内での熱中症対策など児童・生徒が学びやすい教育環境の充実を図ることを目的として、スポットクーラーを購入する。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○備品購入費 ③その他備品購入費 13,376千円</p> <p>スポットクーラー購入費</p> <p>小中学校の屋内運動場 (32施設) に各2台のスポットクーラーを購入し、配備する。</p> <p>209千円×32施設×2台 = 13,376千円</p>				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)	 <p>スポットクーラー (イメージ)</p>				
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>					

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部 学校教育課			
事業区分		新規事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
八次小学校エレベーター設置事業			①	委託料	調査測量設計監理等委託料	673
			②	工事請負費	工事請負費	135,707
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		55				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		136,380	
該当ページ		190 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 *該当なし"0"を挿入 →		0	
		191 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		136,380	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	136,380	68,190		61,300		6,890
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	学校施設環境改善交付金				
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	要配慮児童等がより円滑に移動できるように教育環境の充実を図ることを目的として、八次小学校にエレベーターを設置する。					
事業の積算根拠等	<ul style="list-style-type: none"> ○委託料 ④調査測量設計監理等委託料 673千円 八次小学校エレベーター設置工事監理業務 ○工事請負費 ①工事請負費 135,707千円 八次小学校エレベーター設置工事 					
(詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等						
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	八次小学校					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	1	教育部 社会教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
地域学校協働活動推進事業			①	報 償 費	委員等謝礼	936
			②	報 償 費	講師謝礼	31
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			967	
該当ページ	196 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	197 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			967	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	967		603			364
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金	広島県学校・家庭・地域連携協力推進事業県費補助金				
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	子どもを取り巻く環境が変化する中で、学校だけでなく地域全体で児童生徒を育てる必要性が増してきており、この取組を進めるために、中学校区ごとにコーディネイト役となる地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域社会が連携した取組を推進する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○報償費(委員等謝礼) : 936千円 地域学校協働活動推進員謝礼 936千円 令和7年度地域学校協働活動推進員委嘱人数 : 13人 1,000円/時間×6日/月×12月×13人 = 936,000円</p> <p>○報償費(講師謝礼) : 31千円 地域学校協働活動推進員研修会謝礼 31千円</p> <p>・推進員の委嘱数 令和5年度 9人 (統括・三次・三良坂・布野・八次・作木・甲奴・君田・吉舎) 令和6年度 13人 (統括・三次・十日市・八次・三良坂・布野・作木・甲奴・君田・吉舎・三和・塩町・川地) 令和7年度 13人 (統括・三次・十日市・八次・三良坂・布野・作木・甲奴・君田・吉舎・三和・塩町・川地)</p>					
別添資料	 					
無	<p>家庭科 (ミシン) の授業風景</p> <p>防災教育 (模擬避難所)</p>					
(一覧表/図面等)						
継続事業 > 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
地域学校協働活動推進員は、地域と学校の連携を深め、地域全体で子どもたちを支える仕組みを構築する役割を担う。持続可能な教育環境の実現と地域の教育力向上のために本事業の継続が必要である。						

款	項	目	担当部局・課名				教育部 学校教育課										
10	6	3	事業区分				継続事業				政策3 子どもの未来応援						
事業名			事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称		細節名称		予算額 (千円)									
三次学校給食センター給食配送業務				①	委託料		業務委託料 (物件費)		47,240								
				②													
				③													
				④													
				⑤													
実施計画No,																	
* 三次市予算に関する説明書					⑥ (①~⑤の計)		➔		47,240								
該当ページ			210 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額		* 該当なし"0"を挿入		➔ 0								
			211 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額		➔		47,240								
歳入に関する項目		予算額 (千円)		特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)									
		⑧		国庫支出金		県支出金		市債		負担金等その他							
令和7年度 (予定)		47,240										47,240					
特定財源内訳		財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称													
		国庫支出金															
		県支出金															
		負担金															
事業内容及びその目的 (めざすもの)		三次市三次学校給食センターで調理した給食を、衛生的に管理し、安全かつ決められた時間内に給食受配校 (小学校14校, 中学校7校) へ配送するため、給食配送業務を専門業者へ委託するもの。															
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		<p>○委託料 業務委託料 (物件費) 47,240千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>委託料</th> <th>受託業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給食配送業務</td> <td>47,240千円</td> <td>株式会社 邦友</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>										業務名	委託料	受託業者	給食配送業務	47,240千円	株式会社 邦友
業務名	委託料	受託業者															
給食配送業務	47,240千円	株式会社 邦友															
別添資料		無 (一覧表/図面等)															
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>																	
<p>本業務は、令和5年7月1日から令和10年7月31日までの5年間の契約を締結しているため。(2か月の習熟期間を含む。)</p>																	

款	項	目	担当部局・課名		
10	6	3	教育部 学校教育課		
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援	
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)
学校給食食育推進事業			① 負担金, 補助及び交付金	補助金 (補助費)	1,500
			②		
			③		
			④		
実施計画No,	4	⑤			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			1,500
該当ページ	210 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
	211 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			1,500
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
	1,500	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和7年度 (予定)					1,500
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	市内の小・中学校において、三次を代表する食材（ピオーネ・梨などの三次ブランドの食材）を活用したメニューの給食を実施した場合において、その食材費に係る費用を補助金として交付する。 市内の児童・生徒が三次を代表する食材を学校給食で食べることで、三次ブランドの浸透を図るとともに、郷土愛の醸成を図ることを目的とする。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○負担金, 補助及び交付金 ⑤補助金 (補助費) 1,500千円</p> <p>内訳: 4,000人 (市内の児童・生徒・教職員等) × 375円 (3回分: ピオーネ, 梨, お米ポーク) = 1,500,000円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>学校給食食育推進事業は三次産の食材（三次ブランド）を活用し、子どもたちの関心と生産者の方への感謝を深め、郷土愛を高める取組です。</p> </div>  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;">   </div>				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
三次を代表する食材 (ピオーネ・梨などの三次ブランドの食材) を活用したメニューの学校給食を提供し、三次ブランドの浸透を図るとともに、郷土愛の醸成を図るため。					

款	項	目	担当部局・課名		
10	5	4	教育部 社会教育課		
事業区分		新規事業		政策 4 豊かな心と生きがい	
事業名		節名称	細節名称	予算額 (千円)	
文化財副読本作成事業		①	報酬	非常勤職員報酬 117	
		②			
		③			
		④			
		⑤			
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		117	
該当ページ	198 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			
	199 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		117	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑨)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
	117	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和7年度 (予定)					117
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	児童生徒が、本市の有する文化財等の地域資源について学ぶことのできる小中学校の学習教材としての三次市独自の副読本を作成することで、文化財についての理解を深めるとともに、本市への愛着を図る。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○報酬 (非常勤報酬職員報酬) 文化財保護委員報酬 117千円 7,800円 × 5人 × 3回</p> <p>【経緯と目的】 三次市の文化財を紹介するパンフレットとして、これまで副読本「三次市の文化財」をシリーズとして刊行してきたが、本シリーズは内容が文化財の種別ごとであったため、小中学校でより活用しやすい内容となるよう、市文化財保護委員会とも連携した内容検討を行う。</p> <p>【内 容】 日本の歴史と連動した、三次市の年表作成を検討する。 取り上げる内容については、市文化財保護委員会の中で部会を構成し、連携しながら検討する。</p> <p>【スケジュール】 R7年度：副読本作成に向けた内容等の検討、R8年度以降：副読本の作成</p>				
別添資料	  <p>※参 考：副読本「三次市の文化財」 (三次市の文化財 3 「みよしの無形民俗文化財」) (三次市の文化財 8 「国史跡寺町麿寺跡」)</p>				
無 (一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)					

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	4	教育部 社会教育課			
事業区分		継続事業 (拡充)		政策 4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
重要文化財等保存修理事業			① 負担金, 補助及び交付金	補助金 (補助費)	8,608	
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		8,608	
該当ページ		/頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			
		/頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		8,608	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	8,608				8,608	
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	重要文化財等の保存と活用を図るため、国・県の指定文化財等に係る補助に加えて、所有者に対し補助を行う。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【重要文化財奥家住宅保存修理事業】 前回の保存修理から約 15 年を経過しており、重要文化財の保存と活用を図るため、屋根などの修理を行う。 事業主体は、所有者であり、市は、所有者への国・県補助金に加えての補助を行う。 補助率 国：85% 県・市・所有者：各5% 〈全体事業費 165,000千円 (R5:8,000千円 R6:73,000千円 R7:84,000千円)〉 ●事業計画期間 3年 ●県・市・所有者負担 各5% 各8,250千円 (R5:各400千円 R6:各3,650千円 R7:各4,200千円) ●国庫補助 85% 140,250千円 (R5:6,800千円 R6:62,050千円 R7:71,400千円)</p> <p>【県史跡三次社倉保存修理工事】 建物内部及び外部の土壁の補修等を行う。 事業主体は、所有者であり、市は、所有者への県補助金に加えての補助を行う。 全体事業費：14,113千円 事業計画期間：1年 (所有者負担25% 3,529千円, 市補助金25% 3,528千円, 県補助金50% 7,056千円)</p> <p>【県史跡頼杏坪役宅保存修理工事】 建物内部の建具等の補修等を行う。 事業主体は、所有者であり、市は、所有者への県補助金に加えての補助を行う。 全体事業費：3,520千円 事業計画期間：1年 (所有者負担25% 880千円, 市補助金25% 880千円, 県補助金50% 1,760千円)</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)		重要文化財 奥家住宅		県史跡 三次社倉		県史跡 頼杏坪役宅
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
重要文化財等について、適切な保存と有効的な活用を目的とした整備事業である。 所有者の理解と適切な管理により行える事業であり、国民の財産である文化財を次の世代に伝えていくために欠かすことのできない事業である。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	4	教育部 社会教育課			
事業区分		継続事業 (拡充)		政策4 豊かな心と生きがい		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
史跡寺町廃寺跡整備事業			①	報 償 費	委員等謝礼	371
			②	旅 費	費用弁償	97
			③	旅 費	普通旅費	57
			④	委 託 料	業務委託料 (物件費)	7,981
			⑤			
実施計画No,		60				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		8,506	
該当ページ		198 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			
		201 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		8,506	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	8,506	4,252			4,254	
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助金				
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	<p>史跡寺町廃寺跡の適切な保存と有効的な活用を目的とした整備事業。</p> <p>平成30～令和3年度：発掘調査，発掘調査総括報告書の刊行，令和4～5年度：「保存活用計画」の策定 令和6年度：「整備基本計画」（＝史跡整備の基本的な方向性と方針等を取りまとめた計画）の策定 令和7年度：「基本設計」（整備基本計画の具体化（基本設計）を行う）の策定</p>					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>令和7年度は、「史跡寺町廃寺跡整備基本計画」（令和6年度策定）を具体化するため，基本的な方針や仕様等を検討する基本設計の策定を予定。基本設計の策定にあたっては，本市の財政状況と乖離しない整備に努めるとともに，AR・VRといった先端技術の活用も視野に幅広い世代の興味・関心をひきつける内容を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費（委員等謝礼）：整備検討委員会（仮称）【3回分】の委員等謝礼 371千円 20,000円×5人×3回（学識経験者），7,800円×3人×3回（市文化財保護委員及び地元代表） ○旅費（費用弁償）：委員会出席に伴う策定委員及び文化庁担当官の費用弁償 97千円 ○旅費（普通旅費）：文化庁協議に係る旅費等 57千円 28,280円×2人日（京都） ○委託料（調査測量設計監理等委託料）：基本設計策定業務 7,981千円 					
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>史跡寺町廃寺跡 (現状写真)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>史跡寺町廃寺跡 (空撮)</p> </div> </div>					
無						
(一覧表/図面等)						
<p>継続事業＞過去実績を検証して，変更した点（ICTの導入，DX等による手続きの簡素化，事業内容見直し，対象者拡大など）または，継続としたその主な理由（要綱等の定め，費用対効果が大い，対象が限定的，地域等との協議に基づく取組など）</p>						
<p>国指定の史跡寺町廃寺跡について，適切な保存と有効的な活用を目的とした平成29年度からの継続事業。 事業の実施にあたっては，国の社会情勢や本市の財政状況と乖離しない整備に努めるとともに，文化庁等との関係機関との連携も図る。</p>						

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	4	教育部 社会教育課			
事業区分		新規事業		実施計画の政策区分を選択してください		
事業名		事業 (経費) 内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
宗祐池東第 4 号古墳 埋葬施設移築 復元事業			①	委託料	業務委託料 (物件費)	500
			②	工事請負費	工事請負費	1,991
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		2,491	
該当ページ	200 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →				
	201 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		2,491		
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑨)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	2,491					
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	市道十日市194号線敷設工事に伴い、記録保存を目的とした発掘調査 (R6年度) を実施した宗祐池東第 4 号古墳について、調査成果の公開と活用のため、埋葬施設 (竪穴式石槨 1 基) の移築復元を行う。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○宗祐池東第 4 号古墳の概要</p> <p>宗祐池東第 4 号古墳は、三次市南畑敷町に位置する古墳。 市道十日市194号線敷設工事に伴い、記録保存を目的とした発掘調査を実施 (R6年度) 発掘調査の結果、市内でも最古級の可能性があることがわかり、記録保存とともに、古墳の特色をしめす、竪穴式石槨 (1 基) の移築復元を行うことで、調査成果の活用を図る。</p> <p>○移築復元の内容</p> <p>移築対象：宗祐池東第 4 号古墳の埋葬施設 (竪穴式石槨 1 基) 【規模：長さ約3.6m、幅約2.0m】 内 容：埋葬施設の移築復元工事、説明看板の設置 (※活用に適切な移築先を現在検討中)</p> <p>○工事請負費 (工事請負費)：埋葬施設 (竪穴式石槨 1 基) の移築復元工事 1,991千円 ○委託料 (業務委託料(物件費))：宗祐池東第 4 号古墳の説明看板設置業務委託料 500千円</p>					
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>写真：宗祐池東第 4 号古墳 移築対象の竪穴式石槨 (1 基)</p>					
無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名				
10	5	5	教育部 社会教育課, 甲奴支所				
事業区分		新規事業		政策 4 豊かな心と生きがい			
事業名			節名称			予算額 (千円)	
甲奴平和学習センター展示リニューアルオープンセレモニー			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 報償費(⑤その他報償費)	200		
				② 需用費 (①消耗品費)	20		
				③ 役務費 (①通信運搬費)	17		
				④ 委託料 (①業務委託料)	1,475		
				⑤			
実施計画No,		71					
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			1,712	
該当ページ		202 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			
		205 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			1,712
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑨)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和6年度 (予定)	1,712					1,712	
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金						
事業内容及びその目的 (めざすもの)	平成 6 年度に建築されたジミー・カーターシビックセンターは、甲奴町の活動拠点であり、教育文化の向上のほか国際交流のための重要な施設である。竣工から 3 0 年以上が経過する中でカーター元大統領の展示室「甲奴平和学習センター」において、展示コンテンツに現状と相違するものが散見される状況にあつたため令和6年度に展示内容を更新する改修工事を実施。工事の完了を受けて、カーター氏の新たな魅力や功績を市内外に発信するため、リニューアルオープンに伴いセレモニーを開催するもの。						
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○報償費 (その他報償費) 200千円 ・記念品代</p> <p>○需用費 (消耗品費) 20千円</p> <p>○役務費 (通信運搬費) 17千円</p> <p>○委託料 (業務委託料) 1,475千円 ・オープニングセレモニー運営業務委託料 171千円 ・パンフレット作成業務委託料 1,304千円</p> <p>【リニューアルオープン予定時期】 令和7年5月</p>						
別添資料	無						
(一覧表/図面等)	 <p>展示リニューアル後のイメージ</p>						
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>							
<p>ジミー・カーターシビックセンター展示改修事業 令和5年度 実施設計 令和6年度 改修等工事</p>							

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	5	教育部 社会教育課			
事業区分		継続事業		政策4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
子ども文化芸術ふれあい事業			① 負担金, 補助及び交付金	補助金 (補助費)	3,000	
			②			
			③			
			④			
		⑤				
実施計画No,		57				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			3,000	
該当ページ	204 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	205 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			3,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	3,000				3,000	
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	基金利子				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	三次の未来を担う子どもたちが芸術文化に触れる機会を提供し、芸術作品や表現活動への関心を高めることを目的とする。また、芸術作品への関心を高め、豊かな感性を育む活動をととして情操を高めることに寄与する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○負担金、補助及び交付金 ⑤補助金 (補助費) : 3,000千円</p> <p>美術館等鑑賞事業 三次市小・中学生芸術鑑賞事業実行委員会への補助 児童生徒移送料等</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	  <p>令和6年度の美術鑑賞事業の様子 ※市内の美術館・博物館に加えて、県立歴史民俗資料館 (みよし風土記の丘) を対象のミュージアムとして追加</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
児童生徒が芸術文化に親しむ機会に対し支援することで、感動し学び続ける学習体験につなげる。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	5	教育部 社会教育課			
事業区分		新規事業		政策4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
リンクアップコンサート (子ども文化芸術ふれあい事業)		①	負担金, 補助及び交付金	補助金 (補助費)	5,000	
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		58				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			5,000	
該当ページ		205 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 *該当なし"0"を挿入 →			0
		205 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			5,000
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)	
	5,000	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)					5,000	
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	基金利子				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	<p>これまで実施していた広島交響楽団のオーケストラ鑑賞事業を、カーネギーホールの音楽プログラム「リンクアップコンサート」へと変更する。同コンサートは、市内の小学校5・6年生を対象とし、広島交響楽団による生演奏を聴いたり、同楽団と一緒に演奏したりするコンサートとなる。これまでの、プロによる演奏を聴くという体験に加え、実際に自らもプロの演奏に参加するという体験型のコンサートとすることで、児童が心をときめかせ、より主体的に参加することを目指す。</p>					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○負担金、補助及び交付金 ⑤補助金 (補助費) ・子ども文化芸術ふれあい事業補助金 5,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が心をときめかせ、より主体的に参加することを目指して実施する ・対象は、市内小学校5・6年生 ・実施主体となる実行委員会へ補助金を交付する <p>【補助金の内訳】 報償費 (広島交響楽団関連) : 1,210千円 (児童鑑賞料金, オーケストラ増員・指揮者等, 楽器レンタル料, 楽器運搬) 報償費 (出演者) : 100千円 (ソプラノ・バリトン各1名) 委託料 (公演関連) : 1,210千円 (映像編集・操作, 機器搬入等) 委託料 (児童移送) : 2,000千円 (移送バス手配) 需用費 : 210千円 (教員・児童用テキスト印刷等) 役務費 : 250千円 (翻訳料, 著作権料) 使用料及び賃借料 : 20千円 (出演者衣装レンタル) 合計 : 5,000千円</p> <p>【備考】 県内では呉市で実施 実施にあたっては、呉市と連携を行う</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>会場となる三次市民ホールきりり</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名		
10	5	5	教育部 社会教育課		
事業区分		新規事業		政策4 豊かな心と生きがい	
事業名		節名称	細節名称	予算額 (千円)	
奥田元宋・小由女美術館開館20周年記念展実施事業		① 負担金, 補助及び交付金	補助金 (補助費)	5,000	
		②			
		③			
		④			
		⑤			
実施計画No,		56			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		5,000	
該当ページ		204 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		
		205 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		
			5,000		
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
	5,000	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和7年度 (予定)					5,000
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	<p>令和8年の奥田元宋・小由女美術館開館20周年を記念し、奥田元宋の画業を顕彰する。元宋作品とともに、文化勲章受章作家を中心に、元宋に影響を与えた作家や交友の作家たちの作品を交えて画業をたどる記念展を令和8年度に実施する。これにより、三次市民に芸術文化に触れる機会を提供し、地元ゆかりの作品や奥田元宋や関連作家の作品を鑑賞することで、三次の芸術文化に対する誇りを醸成する。</p> <p>令和7年度は、記念展開催に向けて、関係作品の調査や借用依頼などの事前準備と広報活動を行う。</p>				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費)) ・美術館企画展示事業補助金 5,000千円</p> <p>三次市民に芸術文化に触れる機会を提供し、地元ゆかりの作品や奥田元宋と交友のあった作家たちの作品を鑑賞することで、三次の芸術文化に対する誇りを醸成するため、令和8年度に「奥田元宋・小由女美術館開館20周年記念展」を開催する</p> <p>記念展開催に向けた準備費用や広報費用として、公益財団法人奥田元宋・小由女美術館に対して補助金を交付する</p> <p>【記念展開催までの流れ】 令和7年度：記念展開催に向けた準備（借用候補作品の選定や調査、借用依頼など）、広報活動の実施 令和8年度：奥田元宋・小由女美術館開館20周年記念展開催</p> <p>【補助金の内訳】 旅費：500千円 需用費：1,500千円 委託料：3,000千円</p>				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)	 <p>令和4年度に開催した「文化勲章受章記念 奥田小由女展」</p>				
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>					

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	5	教育部 社会教育課			
事業区分		継続事業（内容見直し）		政策 4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業			① 備品購入費	③その他備品購入費	1,500	
			② 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	3,500	
			③			
			④			
実施計画No,		59				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			5,000	
該当ページ		204 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			
		205 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		5,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑨)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	5,000				5,000	0
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	真田一幸スポーツ・文化子ども育成基金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	市内の概ね18歳以下の子どもを対象としたスポーツ・文化の振興及び育成を図るため、スポーツ・文化活動に自主的に取り組む団体に対して、三次市真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金の交付及びスポーツ・文化活動で使用する用具を購入する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○負担金、補助及び交付金：真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金 3,500千円 子どもを対象とした市内のスポーツ・文化団体，または子供の健全な育成を目的として、スポーツ・文化活動に自主的に取り組む団体等を対象に補助金を交付する。</p> <p>申請見込 70 件 × 補助上限額50,000円 = 3,500,000円 令和5年度申請件数68件，令和4年度申請件数58件，令和3年度申請件数54件</p> <p>○備品購入費：真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業用具購入 1,500千円 スポーツや文化活動で使用する用具を購入する。</p> <p>※令和 6 年度購入 実績</p> <p>みよし運動公園 ホームプレートマット (野球用) 4枚 ソフトボールピッチングマット 4枚 甲奴水泳プール プールフロア 10台</p>					
	別添資料		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ソフトボールピッチングマット</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>バッターボックスマット</p> </div> </div>			
無						
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
平成27年度から始まった当事業が令和6年度で当初予定していた10カ年を経過するにあたり、基金の残高から事業の継続を判断。将来、基金残高が無くなった際の激変緩和を考慮し、年度毎の補助金総額、備品購入金総額を令和6年度までの2分の1として継続する。また、補助金については申請団体1件あたりの上限額を50,000円とする。						